

新 原爆と人間 完成

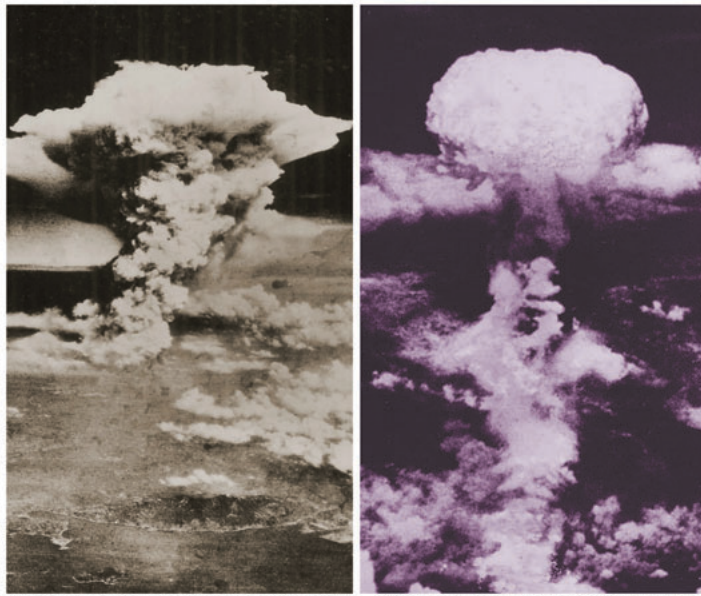
私が被爆者運動を続けているのは、「ふたたび被爆者をつくるな」という願いからです。あなたを含め世界のすべての人々に、あの「地獄」に遭わせたくないから、あの悪魔の兵器がある限り、私は目を閉じられないのです。(30「17歳のあなたへ」から)



来る日もくる日も

来る日もくる日も新たな死者の数がふえつづけていた。火葬が毎日どの空地で行われた家族の手を離される最後の一人を見送る仲間、あるいは引き取り手のない遺体。まだ着せられぬ状態の遺体。啼れ着を離せられ焼かれようとしている姉妹の顔は、お化粧されて美しかった。

13



1945年8月9日午前8時15分、広島に原爆投下。広島市の上空に2000メートルの高さ(米軍撮影) 写真提供：広島原爆被爆者協会
1945年8月9日午後11時29分、長崎に原爆投下。長崎市の上空に2500メートルの高さ(米軍撮影) 長崎原爆被爆者協会

ヒロシマ・ナガサキ

原爆と人間

1

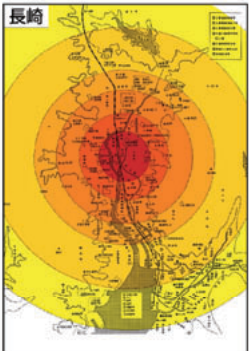
制作：日本原水爆被害者団体協議会

2012.3.1



死の同

原爆による熱線は、人びとを殺しました。燃え広がった火は、爆風で、地面や壁にたたきつけられた無残な死を投げました。爆風が家屋の損壊は5kmまでおぼろげな木造の建物から1.5km内の木造の建物の中にいた人びとは生きのまま焼き殺されました。原爆の放射線は、近距離だけでなく、家族さがしや救済活動が市内に入った人びと、遊歩も急性原爆症を起こしました。



広島市の死者のデータ		長崎市の死者のデータ	
爆心からの距離	死亡率	爆心からの距離	死亡率
0.5km以内	98.5%	1.0km以内	88.4%
0.5~1.0km	83.0%	1.0~1.5km	51.5%
1.0~1.5km	51.6%	1.5~2.0km	28.4%
1.5~2.0km	21.9%	2.0~3.0km	8.5%
2.0~3.0km	7.6%		

15

被爆から67年経た今日の時点に立って、被爆者が心をこめて企画編集しました。ぜひ、この新しい「原爆と人間」を、あらゆる地域で、より多くの人に見ていただき、地球上から核兵器をなくすための世論が広がることを願っています。

ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間

B2判(縦728mm、横515mm)全30枚(ポスター仕様)収納ケース付き 1セット 29,500円(梱包・送料込み)

第1部 あの日あのとき(16枚)

- 1 表紙・タイトル
- 2 【解説】 広島・長崎の原爆
- 3 ヒロシマ——あの日
- 4 涙に曇るファインダー
- 5 母の声を背に
- 6 水をもとめて
- 7 川
- 8 ナガサキ——あの日
- 9 プラットホームの母と子
- 10 焼き場の少年
- 11 見てください
- 12 母と子
- 13 来る日もくる日も
- 14 黒い雨
- 15 【解説】 死の同心円
- 16 【解説】 なぜ原爆は投下されたか

第2部 核被害の広がり(7枚)

- 17 原爆孤児
- 18 サダコの千羽鶴
- 19 外国人被爆者
- 20 第五福竜丸
- 21 米軍ヘリが落ちてきた!
- 22 広がる核被害——少女サファア
- 23 さようなら原発

第3部 ふたたび被爆者をつくるな(7枚)

- 24 ふたたび被爆者をつくるな
- 25 原爆を許さない国にするために
- 26 生きぬいて
- 27 世界に訴える被爆者
- 28 【解説】 世界の核弾頭数 非核兵器地帯
- 29 核戦争を止めてきた被爆者の決意
- 30 17歳のあなたへ

ヒロシマ
ナガサキ 原爆と人間

申 込 書

下記に必要事項をご記入の上、
FAXまたは郵送にてお申し込み下さい

年 月 日

■氏名・団体名(担当者名)

■取扱い団体

■住所(送り先) 〒

■電話

■FAX

■注文セット数

セット

申し込み・
問い合わせ先

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)

〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル9階 メール:kj3t-tnk@asahi-net.or.jp 郵便振替:00100-9-22913

電話:03-3438-1897 FAX:03-3431-2113